

総会議案書

2021年4月17日（土）

午後1時30分

置賜総合文化センター

米沢古文書研究会

米沢古文書研究会議案書

- 1 2020 年度事業報告
- 2 2020 年度決算報告
- 3 2021 年度事業計画 (案)
- 4 2021 年度予算(案)
- 5 役員名簿(案)
- 6 会員名簿
- 7 会則

2020 年度事業報告

1. 例会日程

I 部 (第 3 土曜日)

(国政談、増補旅使奏訓)

2020 年 4 月 18 日 総会中止

5 月 16 日 例会中止

6 月以降の例会は、マスク着用、アルコール消毒、ソーシャルディスタンスを取って実施。

6 月 20 日

7 月 18 日

9 月 26 日は「はじめての古文書入門講座」を予定していたが、10 月 3 日一回のみの講座とし、II 部の例会を実施した。

9 月 19 日

10 月 17 日 研修旅行

11 月 21 日 (午前中 古文書解説相談会)

12 月 19 日 (第 3 土曜日)

1 月 23 日は「新春茶話会」を予定していたが、『「翹楚篇」を読む』の出版記念として、宮田直樹氏の講演会を開催した。講演会終了後会員の懇親会を実施した。

2021 年 1 月 16 日

2 月 20 日

3 月 20 日 (午前中理事会, 例会後監査)

II 部 (第 4 土曜日)

(式目、井蛙鄙談)

4 月 25 日 例会中止

5 月 23 日 例会中止

6 月 27 日

7 月 25 日

9 月 26 日

10 月 24 日 午前中ミニ講演会

11 月 28 日

12 月 12 日 (第 2 土曜日)

2021 年 1 月 23 日 (講演会)

2 月 27 日

3 月 27 日

講師(敬称略)

- ・国政談：中村善治, 平賀陽子, 高橋敬一
- ・式目：中村恵子, 川崎和子, 宮田直樹

- ・増補旅使奏訓：青木昭博
- ・井蛙鄙談：岡崎勝利, 高橋育子

2. 新型コロナウイルス対策

・2020 年は新型コロナウイルスに明け暮れた年だった。県内では 3 月 31 日に米沢市の自動車学校生徒が陽性となり, 4 月 1 日から公民館などが休館となり, その後米沢市内の事業所でクラスターが発生し, 政府は 4 月 16 日全国を対象に緊急事態宣言を行い, 集会, 外出の制限などを国民に要請し, 研究会も 4 月の総会及び 4 月, 5 月の例会を中止した。

・5 月 14 日に緊急事態宣言が解除され, 6 月から例会を再開したが, 文化センターで一番広い 203 号室を用い, 大声を出さないようにマイクを使用し, マイクは使用のつどに消毒を行い, 換気を行い, 1 卓に一人ずつ座って 3 密を避け, 当初は講師の前に透明衝立も設置するなどコロナ対策下での例会を実施した。

3. 初めての古文書入門講座

- ・当初、9月26日と10月3日の2回の予定だったが、コロナ対策のため10月3日（土）一回のみとして「道中絵図（板谷街道）を読む」を実施した。市立米沢図書館所蔵の絵図で、米沢から江戸まで90丁ほどの絵図のうち米沢から福島までの16丁を教材に読んだ。
- ・講師は高橋敬一会長が担当し、会員13名、米沢市広報に案内を掲載し、一般参加7名の参加があった。

4. 研修旅行

10月17日（土）午後1時半から、旧米沢高等工業学校本館を山崎洋一郎館長の案内で館内を見学した。つづいて隣の春日山林泉寺へ移動して、I部例会の講師青木昭博さんから上杉家関連の墓所の詳細な説明を聞き、本堂内部も見学した。会員13名参加。

5. 秋のミニ講演会

10月24日（土）11時から秋のミニ講演会を実施。講師伊藤和夫さん「三味線の音に魅かれて」。退職して三味線に興味を持ち自ら演奏することになった経緯や現在の活動状況などを実演を交えながらの講話を拝聴した。15名参加。昼食後、1時から例会の御代々式目講義。

6. 古文書解読の相談（各家庭に埋もれている古文書の発掘）と臨時理事会

- ・11月21日（土）10:00～12:00に203研修室で実施した。解読相談は、3名の会員外（磯部晃輝さん、大井田螢さん、伊藤義昭さん）の方と、会員の本川功さんも文書を持参した。
- ・やや解読に困難なものもあったが、山王堂顧問にも参加してもらい無事に終了した。
- ・なお、反省点として撮影機材は準備したが、実際に文書の撮影を行わなかったため、その後解読を検証することができなかったので、今後は記録を行い、解読の検証ができるようにする必要がある。
- ・相談会終了後、昼食をとりながら、臨時の理事会を開催した。

7. 「側近が見た上杉鷹山の素顔 『翹楚篇』を読む」の出版

- ・研究会双書3冊目として「翹楚篇」の解説書を2021年1月18日に300部出版した。著者は岡崎勝利さん、平賀陽子さんの二人。
- ・260頁になる大部の本で、県内各図書館に寄贈した。松坂世紀記念財団、公益信託荘内銀行ふるさと創造基金の奨励金を出版費用の一部に宛て、不足分は著者の自費出版。
- 米沢新聞、山形新聞に記事が掲載された。

8. 「名君上杉鷹山像の形成と展開」宮田直樹氏講演会

- ・2021年1月23日、『「翹楚篇」を読む』の出版記念講演会を開催した。近年の研究成果から教育委員会の宮田さんに鷹山が名君と言われるようになった背景を詳しく解き明かしていただいた。会員以外の方が10名、会員が19名の合計29名の参加があった。
- ・講演会終了後、会員の意見交換会を実施しました。鷹山に対する関心の高さと講演が参考になったことで、多くの意見が交わされ有意義な時間になった。なお、宮田さんは2021年度から文化庁に異動して全国的な活動をするようになった。

9. インターネットの利用

- ・米沢古文書研究会のホームページを作成している。例会の予定、教材などを掲載している。
<http://yonezawakomonjo.web.fc2.com/>
- ・維持管理（現在会長ひとりで行っている）補助者を募集している。

10. 市立図書館のサポーター活動

- ・ナセBA（市立米沢図書館）所蔵の古文書解読（上杉文書の戊辰文書など）を水曜日午後2時から行っている。最終的に、解読したものをファイルとして図書館に提出するのでパソコンにテキスト入力を行っている。
- ・マイクロフィルムのデジタル化作業は、コロナ対策のため、多数集合せず、各自の日時を重ならないようにして実施することになっている。
- ・参加には図書館のサポーター登録が必要。（サポーター登録すると、博物館の企画展示の無料招待券がもらえる）

11. 第64回市立米沢図書館主催古文書解読講座への参加

- 3月13日（土）「上杉謙信と北条氏康」 講師：上杉博物館 阿部哲人氏
- 3月21日（日）「米沢藩の地方文書を読む」 講師：米短教授 小林文雄氏
- 3月28日（日）「米沢藩の疱瘡対応史料を読む」 講師：図書館副館長 青木昭博氏

12. 新入会会員

伊藤恵さんが入会した（川崎さんの紹介）。2021年度になるが、石岡要蔵さんが入会（「翹楚篇を読む」を購入に来た際に入会）。

13. 実施未了の事業

- ・資料集の作成ができなかった。
- ・出版記念会は翹楚篇の出版の遅れとコロナ感染症のため実施できなかった。

以上

2021 年度

米沢古文書研究会事業（案）

1. 例会日程

I 部（第 3 土曜日） （国政談、増補旅使奏訓）	II 部（第 4 土曜日） （式目、井蛙鄙談）
2021 年 4 月 17 日 総会	4 月 24 日
5 月 15 日	5 月 22 日
6 月 19 日	6 月 26 日
入門講座を 7 月 3 日、10 日の各土曜日午後 1 時 30 分～4 時	
7 月 17 日	7 月 24 日
9 月 18 日	9 月 25 日
10 月 16 日 研修旅行	10 月 23 日 午前中ミニ講演会
11 月 20 日（午前中 古文書解読相談会）	11 月 27 日
12 月 18 日（第 3 土曜日）	12 月 11 日（第 2 土曜日）
2022 年 1 月 15 日	1 月 22 日（新春茶話会）
2 月 19 日	2 月 26 日
3 月 19 日午前中理事会開催	3 月 26 日（例会後監査）

2. 初めての古文書入門講座（本会主催）

講師は高橋育子さんともう一人（募集中）、7 月 3 日、10 日の 2 回、p1:30～4 を予定、教材は鷹山の福祉政策（総紙・式目）を検討中。

3. 研修旅行

成島八幡神社、一宮神社（広幡町上小菅）、田沢の草木塔などを巡ることを計画。日帰り、昼食も含めて具体案を研修旅行担当で検討する。

4. 秋のミニ講演会の講演者を依頼する

小林擴二さんに依頼。内容はご本人が検討。

5. 古文書解読の相談（各家庭に埋もれている古文書の発掘）

昨年同様に実施する。後で検証できるように記録を行う。

6. 例会講師と教材

Ⅱ部の井蛙鄙談の次は直江状を読み、その後国政談(下)を教材にする(Ⅰ部の国政談(上)が早く終わればⅠ部で直江状を読む場合もある)。Ⅰ部の国政談(上)の次は、米藩名臣録などを予定。

宮田さんが抜けたあとのⅡ部講師の追加は、Ⅰ部の国政談(上)が終わった段階で、国政談講師のうち1名をⅡ部に回すことを検討。なお、講師を固定化させないため、入れ替えを検討する(例えば、Ⅱ部で国政談を読む時期に、現在の式目講師に国政談を担当してもらい、井蛙鄙談講師が式目を担当するなど)。

7. 資料集作成

60周年(2026年)記念誌になるように準備する。例会担当を中心に、打ち合わせの機会を作って具体化を検討する。

和暦西暦対照表、藩主・奉行等の一覧表、上杉家系図、単位換算表、家臣団、凶慌、米相場、米沢大商人一覧表、上級家臣屋敷地図、高畠町変遷、将軍・老中一覧、桜田・麻布・白金屋敷地図、街道番所地図など

8. インターネットの利用

・米沢古文書研究会のホームページを作成している。例会の予定、教材などを掲載

<http://yonezawakomonjo.web.fc2.com/>

・現在、無料サーバーを利用しているが制限が多いので、有料(年間3600円ほど)契約にする。

9. 市立図書館のサポーター活動

・ナセBA(市立米沢図書館)所蔵の古文書解説(上杉文書の戊辰文書、紹襲録など)、テキストファイルを成果物として図書館に提出する。

・マイクロフィルムの古文書などをデジタル化作業

・参加にはサポーター登録が必要。(サポーター登録すると、博物館の企画展示の無料招待券がもらえる)

10. 第65回市立米沢図書館主催古文書解説講座への参加

例年どおりに参加

11. その他

・講師同士の連携と講師以外も含めた事前の打ち合わせ・準備などの機会を作る。なお、会議の場所としては文化センターの減免許可(許可番号C-4)があるので、研究会として適宜申し込んで利用されたい(冷暖房費は必要)。

以上

(役員名簿案)

米沢古文書研究会役員

	2021年4月改選	2020年4月	2019年4月改選	2018年4月	2017年4月改選
顧問	山王堂初雄	山王堂初雄	山王堂初雄	上杉虎雄	上杉虎雄
顧問	青木昭博	青木昭博	青木昭博	青木昭博	青木昭博
会長	高橋敬一	高橋敬一	高橋敬一	高橋敬一	高橋敬一
副会長	平賀陽子	平賀陽子	平賀陽子	上泉一治	上泉一治
副会長	中村善治	中村善治	中村善治	岡崎勝利	岡崎勝利
理事	岡崎勝利	上泉一治	上泉一治	山王堂初雄	山王堂初雄
理事	川崎和子	川崎和子	川崎和子	川崎和子	上泉一治
理事	永井泰廣	永井泰廣	永井泰廣	永井泰廣	永井泰廣
理事	中村恵子	中村恵子	中村恵子	平賀陽子	平賀陽子
理事	坂部正博	坂部正博	坂部正博		
監事	小林擴二	小林擴二	小林擴二	小林擴二	小林擴二
監事	上泉一治	山王堂初雄	山王堂初雄	川口雅子	川口雅子
幹事	高橋育子	高橋育子	高橋育子	高橋育子	高橋育子
幹事		岡崎勝利	岡崎勝利	中村善治	中村善治

☆副会長、理事、幹事の担当

- (1) 入門講座 : 高橋育子, 川崎和子, 中村恵子
- (2) 例会担当 : 岡崎勝利, 中村恵子, 中村善治
- (3) 研修旅行 : 永井泰廣, 中村善治
- (4) 会 計 : 坂部正博(主任), 平賀陽子

米沢古文書研究会 会則

- 第1条 本会は米沢古文書研究会と称する。
- 第2条 本会の事務所を幹事宅に置く。
- 第3条 本会は古文書の解読技術を身につけ、郷土に伝わる古文書に親しみ、相互に学習・研究していくことを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- 1 古文書解読学習会の開催。
 - 2 その他、必要な事項。
- 第5条 本会は、本会の趣旨に賛同する者をもって組織する。
- 第6条 本会に次の役員をおく。
- | | | | |
|-----|-----|----|-----|
| 会長 | 1名 | 幹事 | 若干名 |
| 副会長 | 2名 | 監事 | 2名 |
| 理事 | 若干名 | | |
- 第7条 会長、副会長および監事は総会において推挙する。理事並びに幹事は会長が委嘱する。
- 第8条 役員任期は2ヵ年とする。但し再任をさまたげない。
- 第9条 会長は、会務を総括し、本会を代表する。
副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代理する。
理事は会長・副会長と共に理事会を構成し本会を運営する。
幹事は会務の執行に当たる。監事は会計を監査する。
- 第10条 本会に顧問をおくことができる。顧問は理事会にはかって会長が委嘱する。
- 第11条 本会の会議は総会・理事会・幹事会とする。
総会は年1回会長が招集し、会則の変更・予算・決算・事業計画・役員改選・その他 重要事項を審議する。
- 第12条 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附則

本会の会則は昭和62年4月18日から施行する。

会則第2条を平成21年4月18日から改正・施行する。